

|  |           |                |        |
|--|-----------|----------------|--------|
| 教材名  |           | 『ふるさと山梨』の章・ページ |        |
| 音楽や絵の中の富士山<br>こころのふるさと富士山<br>～富士山を描いた画家たち～ |           | 第2章 P.25       |        |
| 教科(領域)等                                    | 図画工作科(鑑賞) | 学年(分野)         | 第5・6学年 |

1. 教材のねらいと概要

それぞれの画家が描いた富士の表現の違いから、作品に込めた思いを感じ取り味わう。  
 ・山梨県出身者又は、山梨県の美術館等に所蔵されている画家の富士を描いた作品を掲載。

2. 活用例

|       |      |   |                      |
|-------|------|---|----------------------|
| 教科名等  | 図画工作 | 単元(題材)名等  | 富士山を描いた画家たちの作品を鑑賞しよう |
| 活用場面  |      | 活用のポイント   | 時間                   |
| 鑑賞の授業 |      | ○それぞれの富士を描いた作品を鑑賞し、形や色、全体のイメージなどから表現の違いを感じ取ったことを交流する。<br>○それぞれの画家がどのような思いで表現したかを推しはかり、感じたことを交流する。 | 45分                  |

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

| ページ  | 投げかけの言葉   | 意図  | 解答例  |
|--|---|---|--|
| P.25<br> | <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの画家の表現について、自分の富士山のイメージとくらべてみましょう。</li> <li>それぞれの画家の表現をくらべ、ちがいをあげてみましょう。</li> <li>それぞれのちがいに注目しながら、画家が富士にこめた思いを想像し、感じたことを周りの人と話し合ってみましょう。</li> </ul> | 富士山をモチーフにして、時代や季節、天候や場所など様々な富士山を描いた画家の作品群を、〔共通事項〕の視点で考え、比較することによって見方を広げ、交流することにより、更に見方・考え方を深めることができる。 | 色：山肌が黄色い、青い、赤い。など。<br>形：嶺が三つ、四つ。<br>稜線がなだらか、とがっている。など。<br>イメージ：燃えているような感じ。<br>吸い込まれそう。など。<br>これらを基に、感じ取ったこと考えたことなどを交流する。 |

4. 参考文献・関連施設等

| 参考文献名        | 発行所 | 著者・編者    | 発行年  |
|--------------|-----|----------|------|
| 「富士山—信仰と芸術—」 |     | 山梨県立博物館他 | 2015 |